

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成28年9月30日(金) 5校時
 児 童 男12名 女10名 計22名
 授業者 佐藤 美香子 支援員 浅野 峰子

1 単元名 のりものの「やく目」「つくり」「できること」をしらべて、のりものずかんをつくろう
 教材名 「いろいろなふね」(東京書籍 1年下)

2 単元の見聞

- 乗り物に興味を持って教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとする。
 [関心・意欲・態度]
- 事柄の順序に気をつけて、内容の大体と文章の構成を読み取ることができる。 [読むこと イ]
- 好きな乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読むことができる。
 [読むこと カ]
- 主語と述語の関係に注意して文章を読むことができる。
 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(カ)]

3 単元の見聞基準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○乗り物に興味を持って教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとしている。	○事柄の順序に気をつけて、内容の大体と文章の構成を読み取っている。 (イ) ○好きな乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。 (カ)	○主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。 イ(カ)

4 言語活動とその特徴

本単元では、「C 読むこと」の「イ事柄の順序に気をつけて、内容の大体と文章の構成を読むこと」「カ好きな乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読むこと」を重点的な指導事項とする。そのために、「乗り物について調べたことを『のりものずかん』にまとめる」活動を、単元を見通した言語活動として設定する。

具体的には、好きな乗り物について本を読んで調べ、調べたことをカードにまとめる活動を設定している。最終的にカードを作る際には、一人ひとりに、図鑑や資料から①やく目②つくり③できることの三つの要素をさがし出させ、大事な言葉でまとめるようにさせていく。そのために、文章から必要な情報を取り出し写真で確認する活動と、写真からつくりを見つけ、そこからやく目をまとめていく活動を行っていく。図鑑や資料などから大事な言葉を見つけたり考えたりしながら、内容の大体を読み取る力をつけることにつながるものとする。本単元終了後は、出来上がった「のりものずかん」

を幼稚園の園児に紹介する活動を他教科と関わらせながら組み入れていく。自分たちの作った「のりものずかん」を見てくれる相手がいるということで、さらに児童の意欲につながるものと思われる。これらの言語活動を通して、書かれている内容を事柄の順序に合わせて読み取り、ほかの本で調べたことをまとめる力を身につけさせたいと考える。

5 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期に「どうやってみをまもるのかな」で、書かれている事柄に沿って、「体の特徴」「身の守り方」の順序に気をつけながら、内容を読み取っていく学習をした。さらに、文章のまとまりを意識しながら、挿絵と文をつないで正しく内容を理解する学習にも取り組んだ。しかし、文章の内容を理解するのに時間がかかったり、質問の内容と文章に書かれている答えと結び付けられず、聞かれていることを理解できなかつたりする児童もいる。

これまで、国語や生活などでは、自分の考えを相手に伝えるために、ペアでの交流活動を位置づけるようにしてきた。伝え方の型に合わせながら自分の考えを相手に伝えられるようになってきている。しかし、伝えたことが一方通行にとどまっている児童も少なくはない。

そこで、本単元では、自分が読み取ったことをもとに相手と交流する場を通し、相手の考えに対する自分の考えを伝える力をさらに付けさせていきたい。

(2) 教材について

本教材は、特徴的な機能を持った4種類の船を例として取り上げ、役目や構造、装備などについて説明した文章である。それぞれの例示が同じ文章構成、同じ文型で説明されており、叙述に即して内容をとらえたり写真から文章を考えたりすることに適している。また、乗り物という題材は児童にとって身近なものであることから、興味や関心を持って学習に取り組むことができるだろう。

よって、事柄の順序に気をつけて、内容の大体と文章の構成を読み取る力をつけるのにふさわしい教材である。

(3) 指導にあたって

第一次では、子どもたちが知っている乗り物について話し合い、「やく目」や「つくり」、「できること」が明記された「のりものずかん」を作るというゴールを示していく。その際、教師の見本を提示し、どのようなカードを作るのか、見通しをもたせる。最後には、幼稚園の園児にも紹介する予定であることを伝え、意欲の喚起につなげたい。さらに、身近なところに乗り物について書かれてある図書のコーナーを設け、並行読書の仕方についても指導する。

第二次では、前半の3時間で教材文に出てくるそれぞれの船について「やく目」や「つくり」、「できること」にサイドラインを引き、それに合わせて読み取りカードにまとめていく。カードという限られた範囲なので必要な言葉や文を見つけて短くまとめる力をつけさせたい。後半の2時間は、「やく目」を見つけた後、教材文だけでなく写真からも「つくり」を見つけさせていくという手順で学習を進めていく。文章から「つくり」と「できること」を見つけることと写真から「つくり」と「できること」を見つけることの学習を行うことにより、第三次の図鑑や図書資料からの読

み取りがスムーズに行われるのではないかと考える。

第三次では、第二次での学習を活用し、興味のある乗り物の「やく目」や「つくり」、「できること」を読むという目的にそって本や図鑑を読む。そして、読み取ったことをカードにまとめる活動を行い、カードを読み合い感想を交流し合う。その後、幼稚園へ行き「のりものずかん」を紹介し、成就感を味わわせたい。

6 指導計画（全13時間）

段階	時間	主な学習活動	評価規準
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> 全文を読んで、単元のねらいと学習内容を知り、学習の見通しを持つ。 教材文や写真を手がかりにして、船やほかの乗り物、乗り物について知っていることを話し合う。 「のりものずかん」とはどんなものか知る。 	【関】 乗り物についての文章を読んだり、好きな乗り物について調べたりする活動に、興味を持って取り組もうとしている。（行動観察、発言）
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> のりものの「やく目」「つくり」「できること」をしらべて、「のりものずかん」をつくろう </div>		
	2	<ul style="list-style-type: none"> 図鑑や図書資料の見方を確認する。 並行読書の方法について学習する。 	【読】 好きな乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいる。 （行動観察）
3	<ul style="list-style-type: none"> 全文を読んで、内容の大体を読み取る。 語のまとめりやことばの響きに気をつけて音読する。 漢字と語句の学習をする。 	【読】 段落ごとに書かれているふねの順序に気をつけながら読んでいる。 （観察、発言）	
第二次	4	<ul style="list-style-type: none"> 教材文から「きゃくせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取る。 	【読】 「やく目」「つくり」「できること」を教材文や写真から読み取り、大事な言葉に気をつけながらまとめている。（発言、ワークシート）
	5	<ul style="list-style-type: none"> 教材文から読み取った「きゃくせん」の「やく目」と「つくり」「できること」をカードにまとめる。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> 教材文から「フェリーボート」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取る。 カードにまとめる。 	【読】 「やく目」「つくり」「できること」を教材文や写真から読み取り、大事な言葉に気をつけながらまとめている。（発言、ワークシート）
	7 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 写真や教材文から「ぎょせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取る。 カードにまとめる。 	【読】 「やく目」「つくり」「できること」を写真や教材文から読み取り、大事な言葉に気をつけながらまとめている。（発言、ワークシート）

	8	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や教材文から「しょうぼうてい」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取る。 ・カードにまとめる。 	【読】 「やく目」「つくり」「できること」を写真や教材文から読み取り、大事な言葉に気をつけながらまとめている。(発言、ワークシート)
第三次	9	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物の本を読み、調べたい乗り物を見つける。 	【読】 好きな乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読んでいます。 (行動観察)
	10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調べた乗り物を、「のりものカード」にまとめる。 ・紹介の仕方を練習する。 	【書】 乗り物の特徴が伝わるように、カードに整理して書いている。 (カード)
	13	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで作ったカードを紹介し合い、学習を振り返る。 	【読】 「やく目」「つくり」「できること」の事柄ごとに、大事な言葉や文を見つけながら文章を読んだことを確かめている。(発言)

7 本時の指導 (7 / 13)

(1) 目標

「ぎょせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を写真や文章から読み取ることができる。

手立て①「ねらいを明確にした交流の位置づけ」

【ねらい】 →写真や文章から「つくり」について読み取れることを確かめる。

【方向性】 →同じつくりを見つけたか、違うつくりを見つけたか確かめる。自分の考えがもてない児童は、友達の考えを参考にしながら自分の考えをもてるようになるであろうと考える。

【子どもの状態】 →伝え方の型に合わせながら自分の考えを相手に伝えられるようになってきているが、伝えたことが一方通行にとどまっている子どももいる。

【形態】 →ペア (子ども一人ひとりに自分の考えを表現する活動、相手の考えに対する自分の考えを伝える活動を保障するため)

手立て②「子どもが交流のよさを実感することができるような振り返りの位置づけ」

「ぎょせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取る学習活動において、次の視点で本時の学習を振り返らせる。

ア 友達と交流してみてよかったこと。

イ 今日の勉強で分かったこと。(「ぎょせん」の「やく目」と「つくり」「できること」)

(2) 展開

段階	主な学習活動	予想される子どもの考え	指導上の留意点
<p>導入 5分</p>	<p>1 前時の学習の想起をする</p> <p>2 本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ぎよせん「やく目」と「つくり」「できること」を見つけよう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・「きゃくせん」「フェリーボート」の「やく目」と「つくり」「できること」を確認することによって、前時までの学習をしっかり想起させる。 ・「ぎよせん」の写真を見せながら、「ぎよせん」に興味をもたせる。
<p>展開 30分</p>	<p>3 学習場面の音読をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉読み <p>4 「ぎよせん」の内容を読み取る</p> <p>(1) 教材文から「やく目」を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一人で考える。 ② 全体で確認する。 <p>(2) 写真や教材文から「つくり」を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一人で考える。 ② ペアで交流を図る。 ③ 全体で交流を図る。 <p>(3) 「できること」を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 一人で考える。 ② 全体で交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さかなをとるため ・さかなのむれを見つけるきかいをつんでいます。 ・さかなをとるあみをつんでいます。 ・あみをまきとるきかいをつんでいます。 ・見つけたさかなをあみでとります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やく目」を見つけることを目的として、音読させる。 ・「やく目」は㊦と書かせる。 ・「ための」という言葉に注目させ「やく目」を表すことを確認する。 ・見つけた「やく目」を、ワークシートにまとめさせる。 ・見つけた「つくり」の中から、大事なものを確認する。 ・見つけた「つくり」を、ワークシートにまとめさせる。 ・「できること」は㊧と書かせる。 ・「できること」を、ワークシートにまとめさせる。 ・カードにまとめたことを読み合わせる。

終 末 10 分	<p>5 まとめの音読をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名読み <p>6 本時の振り返りをし、次時の学習を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やく目」や「つくり」が伝わるように音読させる。 ・交流をして自分の考えがどうだったか、誰のどんな考えが参考になったか振り返りカードに記入させる。 ・次時は「しょうぼうてい」について学習することを伝える。
-------------------	---	---

(3) 本時の評価の観点と評価規準

具体的評価規準 評価の観点	概ね満足できる状況	支援を必要とする児童への手立て
「ぎよせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を写真や教材文から読み取ることができたか。	「ぎよせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を写真や教材文から読み取ることができる。	前時までの学習や文章を手がかりにして、「やく目」「つくり」「できること」に気づかせるように支援する。

8 板書計画

